



あなたは、17世紀初頭にあった  
ベトナムのお姫様と日本の商人との  
愛の物語をご存知ですか

ベトナムフェスタ in 神奈川 2024・連携イベント  
日越外交関係樹立50周年記念 新作オペラ

# アニオー姫

朱印船が結んだ玉華姫と荒木宗太郎の恋

## プレミアム上映会決定

日時：2024年9月6日（金）13時30分～15時45分  
会場：神奈川県民小ホール（神奈川県横浜市中区山下町3-1）

あの奇跡のオペラが特別編集され、1日限りの上映会を実施！

日越関係者が涙し、音楽家たちが絶賛した「奇跡」のオペラがいま蘇る！

- クラシック界の第一人者、**井上道義マエストロ**も自身のブログで絶賛！
- 毎日新聞学芸部特別編集委員・**梅津時比古氏**も再演を望む記事を紙面に掲載！

オペラ業界も注目！

「台本と音楽、歌手とオーケストラの演奏、さらに演出まで、聴きごたえ観ごたえあり」  
（古屋靖人氏／兵庫県立芸術文化センター・オペラ制作担当プロデューサー）

# 新作オペラ「アニオー姫」プロジェクトとは



大阪府立中之島図書館所蔵「崎陽源訪明神祭祀図絵巻」より

荒木宗太郎は17世紀初頭の御朱印貿易商で、長崎から広南国(現在のベトナム中部)へ赴き、国王から信頼を得て王女・玉華姫と結婚しました。宗太郎は玉華姫を長崎に迎え、姫は長崎の人々から「アニオーさん」として親しまれ、生涯を長崎で過ごしたのです。アニオー姫の興入れの様子は、今も長崎の祭事「長崎くんち」において、7年に1度「御朱印船」の演目で再現され続けています。

「アニオー姫」実行委員会とベトナム国立交響楽団は、両国が400年前から互いを尊敬しあえる関係であった史実をモチーフとし、日越外交関係樹立50周年を記念したオペラ「アニオー姫」プロジェクトを立ち上げ、制作・上演致しました。私たちは、今後もこの作品が、日越友好の象徴として末長く未来へと語り継がれていくことを目指して活動していきます。

## 物語

荒れ狂う海、世界は“大航海時代”の17世紀初頭。広南国の王女・玉華姫と日本の商人・荒木宗太郎は、両国を結ぶ大海原の船上で出会う。それから10年後、二人は運命に導かれ再会。いつしか恋に落ち、結婚することを決意する。娘を異国に嫁がせることに反対する王であったが、二人の変わらぬ決意と深い愛を確認した王は、結婚を許し二人を日本・長崎へ送りだす。

「アイン・オーイ!」長崎の町中で、天真爛漫な玉華姫が宗太郎を広南の言葉で元気に呼びかける。長崎の人々はそんな姫を見て、いつしか「アニオーさん」という愛称で呼ぶようになった。町の人々にも愛され、娘も生まれ、幸せいっぱい二人。そんな二人に抗えない“時代の波”が襲いかかる。長崎奉行から鎖国の通達が下されたのだ。二人の運命の行方は...?



長崎歴史文化博物館所蔵 交趾国館「アニオー姫の洋式鏡」

### 主要キャスト紹介



荒木宗太郎役  
小堀 勇介  
テノール



アニオー姫役  
ダオ・トー・ロアン  
ソプラノ



総監督  
本名 徹次  
ベトナム国立交響楽団  
音楽監督兼首席指揮者



作曲  
チャン・マイン・ファン  
作曲家  
音楽プロデューサー



演出 戯曲 作詞(日本語)  
大山 大輔  
オペラ歌手  
演出家 台本作家



作詞(ベトナム語)  
ハー・クアン・ミン  
ジャーナリスト、作家、  
作曲家、アートキュレーター

### 主要スタッフ紹介

#### 制作・キャスト

総監督 指揮: 本名徹次  
作曲: チャン・マイン・ファン  
演出 戯曲 作詞(日本語): 大山大輔  
作詞(ベトナム語): ハー・クアン・ミン

舞台美術: 伊藤雅子  
舞台映像制作: 野口綾子、堀井武志、河合一輝 (COPEL)、寺田志穂  
照明デザイン: 斎藤茂男  
衣装デザイン: ひびのこづえ  
ヘアメイク: 赤松絵利、Thuy Dao prosthetic make up JSC  
音響デザイン: 白石安紀 (石丸組)  
効果音: 倉橋静男 (サウンドボックス)  
舞台監督: 幸泉浩司  
演出助手: 砂川貞緒

振付師: グエン・ティ・トゥイ・ハン  
副指揮: グエン・ハイ・イエン、余原裕介  
コレペイト: グエン・タイ・ハー、グエン・バン・リン、清水綾、松本詩奈  
大道具: グエン・コン・ホアン、近藤元  
小道具・履物: 高津装飾美術、ハコラゴ、(株) アートクリエイション 東京衣裳、ザ・スタッフ  
衣裳助手: 湯本真由美  
衣裳制作: ズオン・ホン・ヴァン、グエン・ティ・ミン・フォン  
舞台サポート: グエン・チー・タイン、レ・アイン・トゥアン  
舞台監督助手: 山田真代、小田原菜、新納大介  
照明操作: 高円敦美、山口流、藤田典子、本田祥子  
ヘアメイク進行: 松山和美  
舞台技術: (株) アートクリエイション  
通訳ディレクター: グエン・ミン・ヒエン、正山千夏

原作: 新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト 原作チーム  
漆画キービジュアル: 安藤彩英子  
歴史考証: ファン・ハイ・リン、友田博通、福川裕一、菊池誠一  
安藤勝洋、本馬貞夫  
共同制作: ベトナム国立交響楽団、ベトナム国立オペラバレエ団  
制作協力: ホーチン市立オペラバレエ交響楽団  
制作アドバイザー: チャン・リ・リー  
企画協力: 在ベトナム日本国大使館

制作プロデューサー: 佐々木真二  
プロデューサー: チン・トゥン・リン、ファン・マイン・ドック、レ・ハ・ミー  
谷真琴、足立信彦  
統括プロデューサー: 古川直正

#### <上映会概要> ※2024年8月6日現在の情報

タイトル: オペラ「アニオー姫」プレミアム上映会  
主催: 「アニオー姫」実行委員会  
共催: ベトナム国立交響楽団  
後援: 駐日ベトナム大使館、神奈川県、長崎県、ホイアン市

日時: 2024年9月6日(金) 13時受付開始、13時30分プレミアム上映  
場所: 神奈川県民小ホール (神奈川県横浜市中区山下町3-1)  
内容: 約400年前のベトナムのお姫様と日本の商人の愛の物語をモチーフとした新作オペラ



## <寄せられた観劇者の声、声、声、ありがとうございます>

- 「オペラを初めてみたが、素晴らしかった。感動しました」
- 「王様の胸中を歌い上げるシーンから心をわしづかみされました」
- 「アニオー姫が故郷を想い歌うシーンが切なく、ぐっとくるものがありました」
- 「アニオー姫が他界し、宗太郎とともに舞台から去るシーンでは思わず涙した」
- 「古い師の歌声、超絶技巧が素晴らしかった」
- 「よくある周年だから作った的な作品だと思っていたが、本気で作った作品でした。」
- 「家須は、日本人ですか、ベトナム人ですか、透明感のある素晴らしい歌唱でした」
- 「日本人歌手がベトナム語を歌いきったことに尊敬の念を感じる」
- 「愛、日越の友情、人と人との信頼、抗えない運命等、感慨深いテーマに包まれたオペラ」
- 「精緻な映像が美しく新鮮でした」
- 「『ありがとう』というキーワードが美しくリフレインされた演出、心に響きました」
- 「日本発の『世界に発信できる作品、欧米で展開しましょう。応援します!』」
- 「3日間、ハノイの3公演、全部拝見しましたが、まだ観たらない。もっと観たいです」
- 「ハノイ公演や東京公演だけではもったいない作品、再演を願います」 など。

## チケット情報

8月16日(金) 午前10時より  
チケットぴあにて一般販売開始  
URL: <https://w.pia.jp/t/anio-24/>  
料金: 一般 2,000円  
学生割引 1,800円  
ペア割 1,600円  
※ペア割は2枚1組の料金です  
※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください



プロジェクト  
公式サイト



特別音楽明読  
公式サイト